



「実践コース」の様子。県内の企業の担当者、自治体の職員などが集まり、活発に意見交換しました



児童向けの防災教室について話すフクダ・アンド・パートナーズの阿部さん

フクダ・アンド・パートナーズの阿部真美さんは、防災施設としての機能をもつ同社のオフィスビル「仙台長町未来共創センター」

地域の児童に防災教育

今回開催されたのは、「みやぎSDGs塾」第3ターム・前期の第2回講座。実践コースの受講者は参加企業のSDGs活動について学びを深めました。

情報を共有し、連携を深める

12月21日、河北新報社で「みやぎSDGs塾」の実践コース・標準コースの講座が開催され、各コースの参加者が企業団体の取り組みを学習しました。

第3ターム

みやぎSDGs Farm

第22号

2024年1月29日(月)

発行：河北新報社営業局
特別協力：SDGsとうほく

広がる異業種交流



東北地方の食材や食文化を重視した商品を紹介しながら、国分東北の企業理念等について説明する佐藤さん

食を通じた多方面の社会貢献

食品卸業などを営む国分東北の佐藤さんは、「食を通じて世界の人の幸せと笑顔を創造する」との理念に基づいた同社の事業について紹介しました。

「子どもたちにとって、災害時の食料や排泄の問題について考えるきっかけになったと思う」と授業の手ごたえを話した阿部さん。授業の内容が少しでも子どもたちの印象に残り、各家庭の防災意識の向上につながればと語ってくれました。



「仙台長町未来共創センター」内の食料備蓄エリアを見学する東長町小学校5年生の児童

来共創センター」で昨年12月に実施された東長町小学校5年生の課外授業について報告しました。

授業の内容は、阿部さんによる講義と施設見学を通して災害への備えについて考えるもの。種類の豊富な備蓄食糧や、構造の大部分が紙製の仮設トイレ「ほぼ紙トイレ」などに児童らの注目が集まったそうです。

参加者の声 仲間との対話で新たな視点に気づいた



DNPコミュニケーションデザイナー 矢島迅人さん

「みやぎSDGs塾」の活動を通して、他業種の仲間ができたことは大きな収穫です。仲間とのコミュニケーションを通し、各社の取り組みについて知り、自分になかった着目点に気づくことができました。ここで得た気づきを自社内での働きかけにつなげていきたいです。



「SDGs塾」に参加したこと、弊社の事業をSDGsと関連付けて考える機会になった「SDGs塾」がもたらした効果についても話しました。



メモをとりながら、他社の事例紹介に熱心に耳を傾ける参加者



スイコーの取り組みについて具体的な施工事例の解説を交えて話す澤口さんと、話に聞き入る参加者

住宅事業で目指すSDGs

スイコーの澤口祐紀さんは、SDGsの目標「つくる責任つかう責任」「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」などに触れながら、古い住宅をリフォームして省エネ化を図る同社の事業などについて解説。

ことが多い細長いホヤを加工して「むきほや」として商品化する事業。食品ロスの解消、漁業の後継者不足対策、工場での障害者雇用など、この事業が目指すさまざまな面からの社会貢献について解説しました。

みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから！

みやぎSDGs Farm

賛同企業 募集中!!

公式HP およろすぐ お願いします

【申し込み・問い合わせ】
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

標準コース 情報共有とディスカッション ～仲間と意見を交わす～



グループワークでは、互いの考えの共通点や異なる点、連携の可能性などについて、率直に意見を交わしました

今回の「みやぎSDGs塾・標準コース」では、SDGsに関する取り組みを進めている参加企業からの事例発表に続き、グループワークを実施しました。

参加者はそれぞれ、自社や自身が取り組んでいる、あるいはこれから取り組もうとする活動について、SDGsの17の目標と照らし合わせながら用紙に記入。その後4〜5人のグループに分かれ、記入した内容について発表し合い、質問や意見を交わしました。参加者は「トークを通じ、業種は異なっても、地域活性化を目指した活動をしている点で共通していた」「自社の活動に生かせるヒントが見つかったなど、新たな気づきを得られたようでした。」

対話を通じて学ぶ

TOPICS

仙台防災未来フォーラム2024

3月9日(土) 場所 仙台国際センター展示棟・青葉山公園仙臺緑彩館ほか
9:30~16:30

東日本大震災の経験や教訓を未来につなぐため、発表やブース展示、ワークショップなどを通じて防災を学び合うイベントです。

みやぎSDGsFarmに特別協力する一般社団法人SDGsとうほくもブース出展・発表を行います。

発表エリア7 12:55~14:25/会議室4-B
知ってましたか？仙台防災枠組みとSDGsの密接な関係。
～地元企業のSDGsな取り組みをご紹介します～

第3ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】佐々木陵太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩蔵】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤祐【スタイルグループ】千田佳子【ソーニーブルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀【竹鶏ファーム】赤刈利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大、小泉一也【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊合健太郎【山一】高橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚綱学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩【宮城大学フードサービス論研究室】齋藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅色晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

宮城県民共済 SUIKOO 大日本印刷 ERCA 独立行政法人環境再生保全機構 SHOKAI 尚綱学院大学 日本製紙株式会社

みやぎ生協 山一地所 yamadai あすなる学院 エントワデザイン 株式会社 高速 国分東北

STYLE GROUP 竹鶏ファーム 日建リース工業株式会社 蜂屋食品 F&P 株式会社 松島蒲鉾本舗

荒町商店街振興組合 YES工房 オフィス塩蔵 多賀城工場地帯連絡協議会 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA東北 尚綱学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室